

| | | |
|---------------|------|---|
| 日本の諸地域 -九州地方- | ()組 | 氏 |
| | ()番 | 名 |

拓也君たちのクラスでは、九州地方について産業を中核としたテーマから地域的特色を追究することになり、拓也君は追究結果を下の表1のようにまとめていきました。

表1 拓也君の作成したレポートの一部

産業からみた九州地方の特色

九州地方は、全国的にみると他の産業に比べて農業のさかんなところであるといえる。

↓

追究テーマ
「農業王国、九州の姿を探る！」
 - 果物・畜産・野菜の視点から -

■九州 □中国四国 ▨近畿 □中部 ▨関東 ▨東北 ■北海道

年間商品販売額 2009年 7.8

工業総産出額 2010年 7.6

農業産出額 2011年 20.4

0% 20% 40% 60% 80% 100%

(経済産業省・農林水産省データより作成)

資料1 九州各県の主要農産物(H23) ※各県内における生産額の順位

| 順位 | 福岡県 | 佐賀県 | 長崎県 | 熊本県 | 大分県 | 宮崎県 | 鹿児島県 | 沖縄県 |
|----|-------|--------|-------|-----|-------|-------|-------|--------|
| 1 | 米 | 米 | 肉用牛 | 米 | 米 | ブロイラー | 肉用牛 | 肉用牛 |
| 2 | いちご | 肉用牛 | 米 | トマト | 肉用牛 | 肉用牛 | 豚 | 豚 |
| 3 | 鶏卵 | みかん | ばれいしょ | 肉用牛 | 豚 | 豚 | ブロイラー | さとうきび |
| 4 | 生乳 | たまねぎ | 豚 | 生乳 | 生乳 | 米 | 鶏卵 | きく |
| 5 | なす | いちご | いちご | 豚 | ねぎ | きゅうり | 米 | 鶏卵 |
| 6 | ねぎ | ブロイラー | みかん | みかん | ブロイラー | ピーマン | かんしょ | 生乳 |
| 7 | 庭園用種苗 | 豚 | 生乳 | いちご | みかん | 鶏卵 | 茶 | マンゴー |
| 8 | みかん | アスパラガス | 鶏卵 | すいか | 鶏卵 | 生乳 | ばれいしょ | にがうり |
| 9 | トマト | きゅうり | トマト | メロン | トマト | かんしょ | さとうきび | 葉たばこ |
| 10 | ぶどう | ねぎ | だいこん | なす | なし | だいこん | 生乳 | パイナップル |

(総務省統計局データより作成)

果物生産の特色

- 各県のみかん生産を中心に -

畜産の特色

- 宮崎・鹿児島畜産を中心に -

野菜生産の特色

- たまねぎ・トマト・きゅうりを中心に -

みかんは年平均気温15度以上の温暖で多湿の土地が栽培に適しており、一方りんごは果樹の中で最も寒さに強く、年平均気温10度前後の土地が栽培に適しています。

したがって、日本の生産上位県の分布は北と南に分かれます。

好まぬ。りんごの
の地かんとりんご

資料2 みかんとりんご収穫量の上位県(H24) ※下段は年間平均気温

| 順位 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | 6位 | 7位 | 8位 |
|-----|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| みかん | 和歌山 16.7℃ | 愛媛 16.5℃ | 静岡 16.5℃ | 熊本 16.9℃ | 長崎 17.2℃ | 佐賀 16.5℃ | 愛知 15.8℃ | 福岡 17.0℃ |
| りんご | 青森 10.4℃ | 長野 11.9℃ | 岩手 10.2℃ | 山形 11.7℃ | 福島 13.0℃ | 秋田 11.7℃ | 群馬 14.6℃ | 北海道 8.9℃ |

(農林水産省、気象庁データより作成)

(1) 上の資料2から分かる、みかんとりんごの生産に適した気候条件を書きなさい。

| | | |
|-------|-------|-----------------|
| みかん … | 温暖な気候 | (年平均気温15℃以上の地域) |
| りんご … | 冷涼な気候 | (年平均気温15℃未満の地域) |

(2) 九州各県では全体的に畜産がさかんで

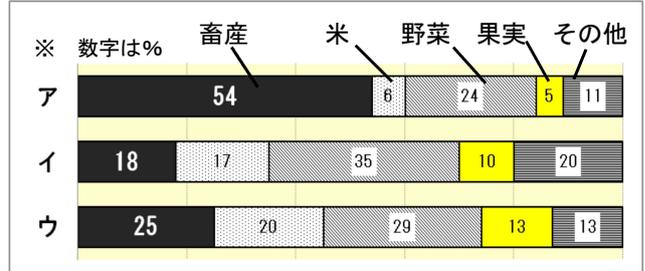
宮崎県の上位1~3の農産物は、ブローラー、肉用牛、豚の畜産物となっており、4位が米となっています。

ラフにあてはまるものをア~ウから1つ選び記号で答えなさい。

記号

ア

資料3 主な県の農業産出額の構成 (H22)



(農林水産省「平成22年農業産出額」より作成)

(3) 拓

表2
適切
表2

前のページの資料1をみると、九州各県では温暖な気候を利用して、果樹や野菜、畜産など多様な農業が行われていることが分かります。また、「米をあまり食べない」ということはどの資料からも読み取れません。

こむための下の「こと」①~③には答えなさい。

記号

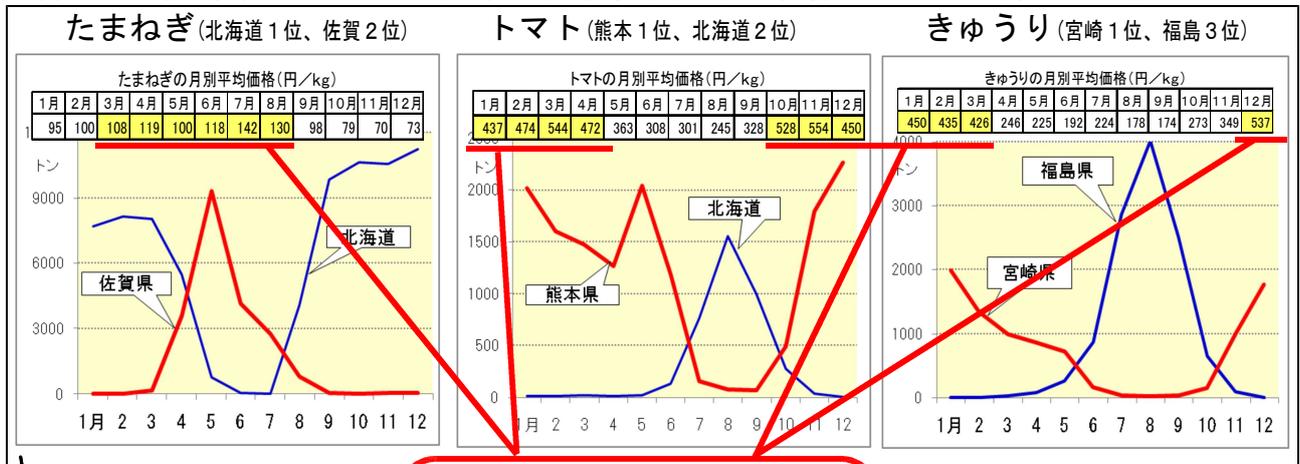
①

| 見つけた資料 | 資料から考えたこと | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|-------|------|------|-------|------|----------|------|------|------|------|-------|----------|------|------|------|------|-----|---|
| <p>■九州・北陸の「水田率*」(左)と農業産出額内訳(右)の比較</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> <p>九州: 54.4% *耕地全体に占める水田の割合</p> <p>北陸: 89.5%</p> </div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>米</th> <th>野菜</th> <th>果実</th> <th>畜産</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>九州(%)</td> <td>12.8</td> <td>25.3</td> <td>7.5</td> <td>39.6</td> <td>14.8</td> </tr> <tr> <td>北陸(%)</td> <td>61.1</td> <td>13.9</td> <td>3.1</td> <td>16.3</td> <td>5.6</td> </tr> </tbody> </table> </div> | 品目 | 米 | 野菜 | 果実 | 畜産 | その他 | 九州(%) | 12.8 | 25.3 | 7.5 | 39.6 | 14.8 | 北陸(%) | 61.1 | 13.9 | 3.1 | 16.3 | 5.6 | <p>①九州は北陸に比べると水田率がかなり低い。これは九州の人たちが北陸の人に比べて米をあまり食べないからだと考えられる。</p> |
| 品目 | 米 | 野菜 | 果実 | 畜産 | その他 | | | | | | | | | | | | | | |
| 九州(%) | 12.8 | 25.3 | 7.5 | 39.6 | 14.8 | | | | | | | | | | | | | | |
| 北陸(%) | 61.1 | 13.9 | 3.1 | 16.3 | 5.6 | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>■全製造品に占める食品品製造額*の割合の比較 (H21)</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> <p>全国: 13% *飲料等を含む</p> <p>九州: 22.7%</p> </div> <p>+ 資料1</p> </div> | <p>②九州は全国に比べ食品品製造額の割合が高い。これは、野菜や果実、畜産物の加工がさかんであるからだと考えられる。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>■九州における肉用牛の飼養状況の変化</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>1965年</th> <th>1975</th> <th>1985</th> <th>1995</th> <th>2005</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>飼養頭数(万頭)</td> <td>61.0</td> <td>68.3</td> <td>85.9</td> <td>98.0</td> <td>101.1</td> </tr> <tr> <td>飼養戸数(万戸)</td> <td>41.1</td> <td>17.9</td> <td>12.0</td> <td>7.0</td> <td>4.0</td> </tr> </tbody> </table> | 年 | 1965年 | 1975 | 1985 | 1995 | 2005 | 飼養頭数(万頭) | 61.0 | 68.3 | 85.9 | 98.0 | 101.1 | 飼養戸数(万戸) | 41.1 | 17.9 | 12.0 | 7.0 | 4.0 | <p>③飼養頭数は年々増えているのに戸数が減っていることから、1戸あたりの飼養頭数が増えて経営が大規模化していると考えられる。</p> |
| 年 | 1965年 | 1975 | 1985 | 1995 | 2005 | | | | | | | | | | | | | | |
| 飼養頭数(万頭) | 61.0 | 68.3 | 85.9 | 98.0 | 101.1 | | | | | | | | | | | | | | |
| 飼養戸数(万戸) | 41.1 | 17.9 | 12.0 | 7.0 | 4.0 | | | | | | | | | | | | | | |

(4) 拓也君は、九州の野菜づくりの特色をまとめるために次の資料4を作成し、これらに共通することを下のようにまとめました。拓也君がまとめた()に適する文章を、資料4をもとに考えて書きなさい。

(他地域では生産量が少ないため) 価格の高い

資料4 主要野菜の生産H24上位県の、東京中央卸売市場における入荷量の比較



共通していること
九州では、温暖な気候を生かしながら、価格の高い月(着色してある月)に生産していることがわかります。宮崎県のきゅうりは、九州()時期に出荷していることが分かる。